

## 世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 解答は楷書で丁寧に記述すること。判読できない場合には誤答とみなすことがあるので、注意すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章をよく読み、問 1 ～ 6 に答えなさい。

人間と社会の歴史は、新たな支配の誕生とその支配からの解放との繰り返しである。

軍事力や経済力などによって、現代の世界で大きな影響力を持つアメリカ合衆国を含む南北アメリカ大陸であるが、大航海時代にスペインやポルトガルによって新航路の開拓が盛んに行われるまでは、歴史の表舞台にあがることはなかった。

1492 年、スペイン女王イサベルは、インドに向けてコロンブスを派遣した。彼はバハマ諸島の  に到着し、その後、アメリカ大陸にも到達した。しかし、彼はこれらの地をインドの一部であると考えていたため、そこに住む先住民をインディオと呼んだ。また、バスコ＝バルボアは、パナマ地峡を横断し「南の海」すなわち太平洋を発見した。ほかにも、アメリゴ＝ヴェスプッチは南アメリカを探検した。

ヨーロッパの人々に発見される以前から、アメリカ大陸には先住民による諸国家が形成されていた。スペイン王室は「征服者(コンキスタドール)」の率いる軍隊を派遣し、まず、1521 年に  が、アステカ王国の首都テノチティトランを襲撃し、国王モンテスマを捕らえ、王国を滅ぼした。次いで 1532 年に入ると、フランシスコ＝ピサロが、インカ帝国の首都クスコを破壊したうえ、皇帝  を処刑し、新たな首都であるリマを建設した。

スペインの植民地では、先住民の保護とキリスト教化を条件として、スペイン人植民者に土地支配が委託されるエンコミエンダ制が導入された。しかし、この制度はドミニコ派修道士  が批判したように、実際には先住民を労働力として酷使し、虐待するものであり、先住民の人口の激減をまねくこととなった。1517 年にはカルロス 1 世がアシエンダ制を導入したが、これは黒人奴隷を供給するというものであり、本格的な奴隷貿易の仕組みをもたらすことになった。

鉱山開発によって、莫大な金銀を独占していたスペインであったが、新興国オランダの攻撃により、その地位は低下していった。オランダは北アメリカ東岸に

ニューネーデルラント植民地を領有し、中心都市ニューアムステルダムを建設した。また、イギリスは17世紀初頭に最初の植民地である E を設け、その後多くのピューリタンが本国の迫害を逃れて北アメリカに移住し、ニューイングランド<sup>(エ)</sup>植民地が形成された。18世紀前半には13の植民地が南北にならぶ形となり、この13の植民地はその後イギリス本国に対し独立を宣言し、今日のアメリカ合衆国の基礎となったのである。<sup>(オ)</sup>

- 問 1 空欄A～Eにあてはまる最も適切な語句を解答欄に記入しなさい。
- 問 2 下線部(ア)のコロンブスは、フィレンツェの天文学者が主張した地球球体説に影響を受けて大西洋を西に進むルートを選んだ。その天文学者の名前を解答欄に記入しなさい。
- 問 3 下線部(イ)のテノチティトランは、現在では何という都市か。解答欄に記入しなさい。
- 問 4 下線部(ウ)に関連し、アフリカ大陸で奴隷を捕らえて売ることにより強国化した、現在のナイジェリアの地に栄えた王国の名称は何か。解答欄に記入しなさい。
- 問 5 下線部(エ)のピューリタンは福音主義の立場に立つが、1536年に出版された福音主義を理論化したカルヴァンの著作は何か。解答欄に記入しなさい。
- 問 6 下線部(オ)に関して、独立軍はワシントンを総司令官にして戦ったが、義勇兵として参加したフランスの自由主義貴族は誰か。解答欄に記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章(イ)および(ロ)をよく読み、設問に答えなさい。

(イ) 次の文章をよく読み、空欄 1～5 に最も適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

アヘン戦争後、中国民衆の生活はいちだんと苦しくなったが、こうしたなか洪秀全はキリスト教的な色合いを持つ宗教結社、 を組織し多くの信徒を集めたが、やがて挙兵し太平天国の建国を宣言し、みずからを天王と称した。太平軍は 1853 年には南京を占領し天京と名付け、さらにその後、天朝田畝制度を發布するなどして理想社会を築こうとした。

太平天国が滅亡した後、中国の国内秩序は一時的に安定し、 と呼ばれた。洋務運動がおこったが、それはあくまで中国の伝統的な道德観などを基本にして西洋技術を活用しようという「中体西用」の立場に過ぎず、国家や社会のあり方を根本から変えようというものではなかった。

東アジアでは日本が明治維新を成し遂げいち早く近代化に乗り出したが、中国の近代化は遅れがちであった。やがて日清戦争がおこり清国は敗北したが、その後、義和団事件がおこるなどするなかで、中国東北部と朝鮮半島でロシアと日本の対立が深まり日露戦争がおこった。清朝は 1905 年国家の近代化を目指して  を廃止したり、憲法大綱を発表したりしたが、清朝を倒そうとする運動が盛んになり、孫文は同年、日本の東京で  を組織して、総理になった。1911 年、辛亥革命がおこり、翌 12 年には南京で中華民国の建国が宣言され、孫文が臨時大総統に選出された。こうしてアジアで初めての共和国が誕生した。

辛亥革命後、社会改革を進める立場から文学革命と言われた運動が始まり、 は陳独秀の創刊した『新青年』誌上で白話文学をととなえ、魯迅は『狂人日記』などを著した。

(ロ) 次の文章(A)～(E)をよく読み、下線部(1)～(4)のうち、適切でないものを一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(A) 陳独秀が中国共産党を結成したあと、孫文は第1次国共合作を進めた<sup>(1)</sup>が、1926年蔣介石を指導者とする国民革命軍が北伐を開始した。1927年4月蔣介石は上海でクーデタをおこし共産党を弾圧し、南京に国民政府を樹立した。共産党は農村でソヴィエト政権を作る方針をとり、1931年には毛沢東<sup>(4)</sup>を主席とする中華人民共和国臨時政府が成立していた。

(B) 日清戦争後、ロシアは三国干渉の代償として東清鉄道の敷設権を清国から<sup>(1)</sup>獲得し、ドイツは膠州湾を租借し、イギリスは威海衛・九竜半島を、フランスは広州湾を租借し、中国進出に出遅れたアメリカ合衆国は門戸開放宣言を出した。こうした動きがある中、公羊学派の康有為は1898年戊戌の変法をおこしたが、保守派は西太后と結んで同治帝を幽閉する<sup>(3)</sup>などクーデタをおこし、<sup>(4)</sup>康有為らのめざした改革は挫折した。

(C) 1934年、瑞金の共産党軍は国民政府軍の攻撃を受けて長征を実行し延安<sup>(1)</sup>を中心とする奥地に根拠地を移した。国民政府は1935年それまでの基本的な通貨であった金を禁止して、ポンドと連動した四大銀行の発行する銀行券<sup>(2)</sup>を法幣と定めた。これによって地方の軍閥の力は弱体化し、<sup>(3)</sup>金融市場の統一<sup>(4)</sup>が進むとともに中国の国内統一への方向が強まった。

(D) 1950年代、毛沢東は「大躍進」運動を指導<sup>(1)</sup>して、農村で人民公社の設立を進めたが大規模な集団化は失敗し多くの犠牲を出した。毛沢東に代わって党<sup>(2)</sup>主席となった劉少奇は経済計画を再検討した。1959年チベットでは反中国<sup>(3)</sup>運動がおこり、これをきっかけにダライ＝ラマ14世はインドへ亡命した。<sup>(4)</sup>

(E) プロレタリア文化大革命の後、鄧小平を中心として「四つの現代化」を推進<sup>(1)</sup>  
し社会主義市場経済化を進め、それ以降中国は急速に経済成長が進んだ。し  
かし経済改革と比較して政治体制の民主化は進まず、その不満が1989年に  
は天安門事件を引き起こした。<sup>(2)</sup>鄧小平が亡くなるとその後を継いで胡錦濤が<sup>(3)</sup>  
最高指導者となり経済改革路線を継承した。<sup>(4)</sup>

〔Ⅲ〕 次の文章をよく読み、下線部(1)～(10)に関する問1～10に答えなさい。

世界の歴史は格差の歴史でもある。例えば、世界史上いたるところで確認できる奴隷の制度は、決定的な身分格差を示すものである。そのほかにも、戦争や貿易によって格差は生み出された。<sup>(1)</sup><sup>(2)</sup><sup>(3)</sup>

古代ローマに目を向けてみよう。ティベル川のほとりにラテン人の一派によって建設された都市国家がローマである。ローマの政治は、多くの権力格差を含むものであった。しかし、ローマは圧倒的な軍事力で地中海全体をほぼ制覇することとなった。<sup>(4)</sup><sup>(5)</sup>

4世紀に入ると、フン人がドン川を越えて西進し、東ゴート人を征服し、西ゴート人を圧迫した。<sup>(6)</sup>それにより、西ゴート人は南下し、ローマ帝国領内に移住した。それをきっかけに、200年にもわたるゲルマン人の大移動が始まり、西ヨーロッパ、北アフリカの各地にゲルマン諸国家が形成されたが、フランク王国などを除いて、大半は短命に終わった。<sup>(7)</sup>

民族大移動後の混乱は商業と都市を衰退させ、社会は農業経済に大きく頼るようになった。貨幣よりも土地や現物が価値を持つようになり、封建社会が成立した。<sup>(8)</sup>

他方、東ヨーロッパではビザンツ帝国が独自の文化的世界をつくっていた。ビザンツ帝国はゲルマン人の大移動によっても深刻な打撃は受けず、商業と貨幣経済は繁栄を続けていた。しかし、そのビザンツ帝国もオスマン帝国によって滅ぼされた。<sup>(9)</sup><sup>(10)</sup>

問 1 下線部(1)に関連して古代ギリシアの「奴隷」の記述として適切でないものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ポリスの住民は貴族と平民からなる市民と、人格を認められない奴隷により構成された。
- ② ポリスのアゴラでは市民が談話や議論を楽しみ、彼らの多くは所有地であるクレーロスで奴隷を用いた農業を行った。
- ③ スパルタ市民は隷属する非ドーリア系のヘイロータイを商工業に従事させ、従軍の義務を負わせた。
- ④ 古代ギリシア人は自らをヘレネスと呼び、異民族をバルバロイと呼んで、明確に区別した。

問 2 下線部(2)「戦争」の記述として最も適切なものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 第2回ポエニ戦争で勝利したローマはシチリアなどの海外領土を獲得した。
- ② 第2回ポエニ戦争でカルタゴのハンニバルはイタリアへ侵入し、ゲヌアの戦いでローマに勝利した。
- ③ 第2回ポエニ戦争では、ローマの大スピキオがスペインを制圧し、カルタゴ本国を攻撃した。
- ④ 第2回ポエニ戦争では、ローマはメディオラヌムの戦いでハンニバルを破り、第3回ポエニ戦争ではカルタゴを滅ぼした。

問 3 下線部(3)「貿易」の記述として**適切でないもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 前2千年紀、アッシリア王国は小アジアとの中継貿易によって栄えたが、前15世紀にはミタンニ王国に一時的に服属した。
- ② 前8世紀半ば、ギリシア人は地中海と黒海の沿岸各地に植民市を建設し、交易活動を行った。
- ③ 前1500年頃から、地中海東岸のシリア・パレスチナ地方ではセム語系のアッカド人が交易で活躍していた。
- ④ 前1200年頃、多くの都市国家をつくったフェニキア人は、クレタ・ミケーネ文明が衰えた後、地中海貿易を独占した。

問 4 下線部(4)「権力格差」の記述として**最も適切なもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 前6世紀末のローマでは貴族(パトリキ)と平民(プレブス)の間に身分格差があり、最高官職のディクタトルは貴族から選ばれ、それを指導したのは貴族の会議である元老院であった。
- ② 前5世紀前半に、元老院などの決定に拒否権を行使できる平民選出の護民官と平民会が設けられ、前5世紀半ばには貴族が独占していた慣習法を成文化した十二表法が制定された。
- ③ 属州で徴税請負を行っていたノビレスは、属州の拡大により莫大な富を得る一方、征服戦争で農地を荒廃させた中小農民は無産市民となり、経済格差が拡大した。
- ④ リキニウス・セクスティウス法によって、平民会の決議が元老院の許可なしに全ローマ人の国法となることが定められ、平民と貴族の政治上の権利は同等になった。

問 5 下線部(5)「軍事力」に関する記述として**適切でないもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ローマは重装歩兵を軍事力の中核として、エトルリア人やラテン人、南部ギリシアの都市国家を征服した。
- ② ローマとピサエを結ぶ舗装道路であるアッピア街道は、兵士や物資の迅速な輸送を可能にした。
- ③ ローマに征服された都市は、植民市、自治市、同盟市などに分けられ、その義務と権利はそれぞれ異なるものとされ、相互の団結が阻まれた。
- ④ 大土地所有制(ラティフンディア)による大規模な農業経営では、ローマとの戦いで生まれた戦争捕虜が多く使われた。

問 6 下線部(6)「フン人」に関する記述として**最も適切なもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① フン人は騎馬遊牧民族であり、月氏と同族関係にあるとする説が有力視されている。
- ② フン人はドナウ川中流のパンノニアに大帝国を建てたとされている。
- ③ フン人のアッティラ大王は北イタリアのカタラウヌムに侵入したが、西ローマを中心とした連合軍に敗れた。
- ④ フン帝国はゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって滅ぼされた。

問 7 訂正で問題削除。解答の必要はありません

問 8 下線部(8)「封建社会」に関する記述として適切でないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 封建的主従関係は、ゲルマンの恩貸地制度とローマの従士制を起源として生まれた。
- ② 荘園では、重量有輪犁を引く牛馬を用いた耕作が行われ、三圃制農法が普及した。
- ③ 農奴は貢納と賦役のほかに、結婚税や死亡税をおさめる義務を負っていた。
- ④ ローマ＝カトリック教会は、教皇を頂点とする階層性組織を形成し、農民から十分の一税をとりたてた。

問 9 下線部(9)「商業」に関する記述として最も適切なものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ロンドンが北海貿易の中心として、フランドル地方に羊毛を輸出した。
- ② ヴェネチア・ジェノヴァ・ピサなどの都市では、塩や香辛料など生活必需品が取引された。
- ③ リューベック・ハンブルク・ブレーメンなどの都市では毛皮や宝石といった奢侈品が取引された。
- ④ ミラノ・フィレンツェなどの都市は錬鉄業で栄えたほか、フランスのシャンパーニュ地方は定期市で繁栄した。

問10 下線部(10)「オスマン帝国」は地中海・紅海・黒海にわたる広大な領域を支配したが、その支配下に入らなかった都市を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① マルセイユ
- ② メッカ
- ③ イスタンブル
- ④ カイロ

〔Ⅳ〕 次の文章をよく読み、下線部(1)～(9)および空欄A～Cに関する問1～10に答えなさい。

インドシナ半島部とその周辺に広がる島嶼部からなる地域は、今日では東南アジアと呼ばれている。前4世紀頃から、中国文化の影響と土着的要素が融合して生まれたとされるドンソン文化が、ベトナム北部を中心に発展した。ベトナム以外の地域では、インド文化の流入が生じ、その宗教や神話、言語、建築様式などがまとまって受け入れられた。しかし、インド文化の影響を受けつつも、東南アジア諸民族の独創性ははっきり認められる建築物も造営されている。

こうした東南アジアの最古の王朝とされるのが、1世紀末頃メコン川下流域に建国された扶南である。扶南はデルタ地帯の開発と海上貿易で栄えたが、7世紀中頃に真臘に滅ぼされた。2世紀末には、チャンパー国をベトナム中部に建国した。

8世紀頃になると、ムスリム商人はインド洋をわたりマラッカ海峡を越えて、東南アジアから中国沿岸にまで進出し始め、このような交易の拡大は東南アジアにイスラーム教を伝播させることになった。10世紀頃からは中国商人も船を用いた西方との交易に参加するようになり、東南アジアにはさまざまな地域から商人が進出することになった。マラッカ海峡はインド洋と南シナ海を結ぶ重要な交通の要衝となり、マラッカ王国は交易の中心として大いに繁栄した。

13世紀以降、東南アジアではモンゴル人によるたび重なる南方進出を受けて、民族分布や政治勢力の分布に大きな変化がみられた。インドシナ半島の中央部には当初モン人やクメール人の国家が存在していた。その後、モンゴル人勢力に押されて雲南方面から南下したタイ人によって、チャオプラヤ川中流域にその最初の王朝である  が開かれた。また13世紀後半にはモンゴルは  が支配するミャンマー(ビルマ)に侵攻して滅亡させた。他方、ベトナムの  はモンゴルの三度にわたる侵攻を退け、これによって民族意識が高揚して自国の歴史書が編纂され、民族文字も使用されるようになった。こうして、18世紀後半の東南アジアでは数多くの民族国家が興亡した。18世紀後半から19世紀の初めにかけてのインドシナ半島では、おおよそ今日の領域に重なる諸王朝の枠組みが作られたのである。

問 1 下線部(1)に関連して、7世紀末に唐僧の義浄がインドからの帰国途上に訪れ、『南海寄帰内法伝』を著したとされる王国名として最も適切なものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① マジャパヒト王国                      ② シュリーヴィジャヤ王国  
③ アチェ王国                              ④ ドヴァーラヴァティー王国

問 2 下線部(2)について、東南アジアの代表的な建築物について述べた文章として最も適切なものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ボロブドゥールはバリ島中部に造営された大乘仏教の石造遺跡である。  
② ボロブドゥールはスールヤヴァルマン2世によって造営された。  
③ アンコール=ワットは当初は仏教寺院として建設された。  
④ アンコール=ワットの回廊内壁には『ラーマーヤナ』の場面を表した彫刻がある。

問 3 下線部(3)の「真臘」に関する記述として適切でないものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① この国の外港があったオケオではインドの神像やローマ金貨が出土している。  
② 8世紀頃に南北に分裂した際、北部は陸真臘、南部は水真臘によって支配された。  
③ クメール人が建てた国家であり、おおむね現在のカンボジアにあたる。  
④ アンコール朝では治水・灌漑の技術が発達し、農業生産が増大した。

問 4 下線部(4)の「チャンパー国」は時代ごとに異なる中国名が付けられているが、年代の古いものから順に適切に配列されているものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 占城→林邑→環王                      ② 環王→林邑→占城  
③ 林邑→環王→占城                      ④ 林邑→占城→環王

問 5 下線部(5)に関連して、イスラーム教では信徒に「六信五行」と呼ばれる義務が課せられるが、そのうち五行の記述として**適切でないもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① メッカへの巡礼                      ② 聖戦(ジハード)への参加
- ③ ラマダーンの間の断食              ④ 他者への喜捨

問 6 下線部(6)に関連して、中国で建造された木造の帆船で、おもに中国商人が海洋交易で使用した船として**最も適切なもの**を次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① ダウ船                                  ② ガレオン船
- ③ カラック船                              ④ ジャンク船

問 7 下線部(7)の「マラッカ王国」に関する記述として**適切でないもの**を、以下の選択肢①～④のなかから一つ選び解答欄にマークしなさい。

- ① 16世紀初めポルトガルの艦隊に攻められて滅んだ。
- ② 15世紀半ばマラッカ支配の回復を試みたタイ勢力をイスラーム商業勢力との関係を強化することで阻止した。
- ③ ヒンドゥー教国家のバンテン王国と交易の主導権を争った。
- ④ 鄭和の南海遠征に協力し、明の朝貢国となった。

問 8 空欄A, B, Cに入る王朝名の組み合わせとして**最も適切なもの**を次の選択肢①～④のなかから一つ選び解答欄にマークしなさい。

- ① A—スコータイ朝                      B—パガン朝                      C—陳朝
- ② A—スコータイ朝                      B—パガン朝                      C—李朝
- ③ A—パガン朝                              B—スコータイ朝                      C—陳朝
- ④ A—パガン朝                              B—スコータイ朝                      C—李朝

問 9 下線部(8)に関連して、東南アジアの民族文字の記述として適切でないものを次の選択肢①～④のなかから一つ選び解答欄にマークしなさい。

- ① タイ(シャム)文字は、アユタヤ朝のラームカムヘーン王の時代に制定された。
- ② タイ(シャム)文字は、カンボジア文字(クメール文字)を改変して作られた。
- ③ チュノムは、漢字をもとにして作られた。
- ④ チュノムは、「南の文字」を意味する。

問10 下線部(9)に関連して、この時期の東南アジアの状況に関する記述として適切でないものを次の①～④のなかから一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

- ① 東南アジアの諸王朝は清に朝貢したが、服従関係は名目的なものであった。
- ② 阮文岳・文呂・文恵の三兄弟によってベトナムが統一され、西山朝が開かれた。
- ③ ミャンマー(ビルマ)ではフランスの進出を受け、トゥングー朝が滅んだ。
- ④ タイではアユタヤ朝滅亡後の混乱を経て、ラーマ1世によってラタナコーシン朝が開かれた。

〔V〕 次の文章A～Jをよく読み、下線部(1)～(4)のうち、適切でないものを一つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

A 学問研究と教育の機関として、12世紀以降に初めて登場してきたのが大学である。世界最古と呼ばれる大学はボローニャ大学であり、11世紀後半に神学生たちが自治組織として学生組合を結成したことが始まりである。さらに12世紀には私塾を開いていた教師の組合からパリ大学が成立した。つまり、大学のなり立ちは、商人や職人のギルドにならっているのである。その後、12世紀後半にオクスフォード大学がイギリスに作られ、神学研究で有名となった。また、当時の大学には、文法・修辞・論理・算術・天文・幾何・音楽の自由7科を基礎として、神学・法学・医学の3専門学部がそなわっていた。

B 近代科学はルネサンス期に始まり、さまざまな要素がヘレニズム文化、イスラーム文化から受け継がれていた。その中には占星術や錬金術も含まれ、占星術は古代オリエント以来の天文に関する知識の蓄積をもとに、ヘレニズム文化・ローマ文化でさかんであり、イスラーム世界をつうじてヨーロッパへもたらされた。錬金術も同様に、イスラーム世界からヨーロッパに伝えられた。占星術と錬金術は、ルネサンス期においては科学と明確に区別することのできない面も持ちあわせていた。ここで占星術や錬金術に影響を与えたのがヘルメス主義であり、実在した古代哲学者ヘルメス＝トリスメギストスの著書とされる『ヘルメス文書』が15世紀の人文主義者フィチーノにより翻訳された。

C 17世紀にさかんであった絶対王政は、華麗で豪華なバロック文化を主流にした。この様式は、ルネサンス式の反動として16世紀後半から18世紀初めまで<sup>(1)</sup>流行した。初期にはパリのヴェルサイユ宮殿を中心に多くの宮廷画家たちが<sup>(2)</sup>活躍した。フランドル派のルーベンスと、その弟子でイギリスで活躍したファン＝ダイク、スペイン人のベラスケス、独立後のオランダで活躍したレンブラントなどが代表である。バロック音楽ではバッハやヘンデルが活躍した。美術や建築では曲線を多用した繊細で優美なロココ様式が流行した。フリードリヒ2世がポツダムに建設したサンサーシ宮殿はこの様式の代表である。

D 19世紀後期にアメリカに独自の哲学の潮流を生み出したウィリアム＝ジェームズとジョン＝デューイのプラグマティズム<sup>(1)</sup>は、イギリス経験論の流れをくんでいる。そもそもこの経験論は、17世紀前半、フランシス＝ベーコンによって唱えられ、実験と観察結果にもとづいて一般法則を導く帰納法にしたがっている。これに対してフランスのパスカルは、演繹法にもとづく合理的な思考法を主張し、近代合理主義を開始した。これら二つの思考法をもとにして、17世紀後半に自然科学が近代的学問として成立した。この動きの影響は「科学革命」<sup>(4)</sup>と呼ばれ、ニュートンはその礎をきずいた。

E 合理主義的で、社会的な偏見を批判する立場がより大きな潮流となるためには、科学的な思考の浸透が必要であった。この流れのなかで啓蒙思想は特にフランスで著しい展開をとげ、『法の精神』でイギリスの憲政をたたえたモンテスキュー<sup>(1)</sup>、カトリック教会を批判し、『哲学書簡』でイギリスを賛美したヴォルテール<sup>(2)</sup>、そして『人間不平等起源論』、『社会契約論』を執筆したルソーなどの名前が挙げられる。他の啓蒙思想家たちが一般に文明の進歩を賛美したのと同様に、ルソーは人間の自然状態からの脱却に理性の可能性を見た。ディドロとダランベールらが編集した『百科全書』もまた、啓蒙思想の集大成と呼ぶことができる。<sup>(4)</sup>

**F** 17世紀以降、タスマンのタスマニア・ニュージーランド・フィジー探検、クックのニューギニアやニュージーランド、ハワイなどへの太平洋探検がおこなわれた。<sup>(1)</sup>19世紀後半には、リヴィングストンやピアリによるアフリカ内陸部の探検がすすんだ。<sup>(2)</sup>さらにはヘディンによる楼蘭の発掘、スタインの敦煌の調査もおこなわれた。20世紀にはいと国の威信をかけて極地探検が競うようにおこなわれた。例としてはアムンゼンとスコットの探検を挙げることができ、南極点到達をめぐるこの二人は競い合った。<sup>(3)</sup><sup>(4)</sup>

**G** 産業革命は大量生産のための技術革新によって可能になり、まずそれは綿工業の分野においてマンチェスターで始まった。<sup>(1)</sup>1733年のジョン＝ケイによる飛び杼の発明により綿織物の生産は飛躍的にのびた。その後さらに、ハーグリーブズのジェニー紡績機、アークライトの水力紡績機、クロンプトンのミュール紡績機などが発明され、<sup>(2)</sup>良質の綿糸が大量生産されるようになった。1785年には力織機がカートライトによって発明された。<sup>(3)</sup>1769年にワットが蒸気機関を発明してからは、水力にかわる動力源として生産の効率性を高めた。動力源の発達はさらに、交通機関の改良にまでおよび、ステイーヴンソンによる蒸気機関車の製作と実用化につながった。<sup>(4)</sup>

**H** 19世紀になってイギリスにおいて社会主義思想を展開し始めたのはロバート＝オーウェンである。彼は1825年から28年にかけて、ロンドン郊外に理想的協同社会ニューハーモニーの建設を試みたが失敗した。<sup>(1)</sup>また、彼は工場法の制定、労働組合や協同組合の育成に尽力した。フランスでは理想的産業社会の実現をめざしたサン＝シモン、生産と消費の協同組合的理想社会をめざしたフーリエとならんで、ブランキやプルードンらによる無政府主義運動がおこった。<sup>(2)</sup>マルクスとエンゲルスは独自の社会主義理論を展開した一連の著作で、資本主義体制は没落し、革命をへて社会主義体制に必然的にいたるという歴史観を展開した。<sup>(3)</sup><sup>(4)</sup>

I 古代オリンピックを国際オリンピックとして再現するために力を注いだのは  
(1) クーベルタンであった。ナポレオン 3 世は、1855 年にアテネに続いてパリで  
(2) オリンピックを開催し、成功を収めた。この時期には、ナイティンゲールの功  
績をもとに、デュナンが戦争犠牲者の救援をめざす国際(万国)赤十字社同盟を  
設立した。またハーグでは国際平和にかんする万国平和会議がロシア皇帝ニコ  
(3) ライ 2 世の提唱で開催され、成果として国際仲裁裁判所が 1901 年に設置され  
た。この裁判所は国際紛争の平和的解決を目標としたが、第一次世界大戦前  
(4) はほとんど実効性がなかった。

J 19 世紀にヘーゲル哲学の方法に対抗するかたちで『死にいたる病』を執筆し  
(1) たキェルケゴールは、実存哲学の祖となった。この哲学の潮流は 20 世紀にな  
って、主著『存在と時間』を執筆したハイデッガー、『存在と無』を執筆したサル  
(2) トルによって引き継がれた。こうした実存主義という思想の運動は、マルクス  
(3) 主義にも接近した。実存主義は文学にも影響を与え、ロマン＝ロラン、カミ  
(4) ュ、カフカなどもその代表であると言える。